

# 2021年3月期 第1四半期決算（参考資料）

オカダアイオン株式会社（東証1部 6294）



- ◆新型コロナウイルス感染拡大により、国内外の経済活動は急減速
- ◆当社グループは国内、海外ともに感染防止に努めつつ事業活動は継続  
対面活動を自粛・制限しながら、顧客要請に応じた商品供給とアフターサービスに注力
- ◆経費削減にも注力した結果、2021年3月期第1四半期は『減収増益』
  - ・売上高 3,985百万円(前年同期比6.4%減)
  - ・営業利益 368百万円(前年同期比4.2%増)
- ◆上記及び今後の第2波以降の影響等を踏まえて、業績予想と配当予想を公表
  - ・連結業績予想: 売上高 160億円(前年比10.9%減)  
営業利益 10億円(前年比26.3%減)
  - ・年間配当予想: 28円(前年実績を据え置き)

# コロナウイルスのセグメント別影響



- ◆国内は、大きな影響なく解体現場はほぼ稼働中
- ◆海外は、3月以降北米の影響続くが、欧州・アジアは回復の兆し
- ◆南星は、4月以降買い控え等の影響あり

【前年同月比(%)】

		21/3期1Q 売上に占める 割合(%)	2020年 2月	3月	4月	5月	6月	累計
国内		66	117	99	100	95	113	104
海外	北米	14	141	56	56	73	89	76
	欧州	3	151	89	62	160	92	102
	アジア その他	3	225	55	80	63	136	98
南星		14	66	112	60	90	95	87
連結計		100	113	94	82	92	107	98

※北米・欧州の現地法人は1/未決算のため、1Qが2月～4月・2Qが5月～7月となります

# 2021年3月期第1四半期業績及び通期見通し

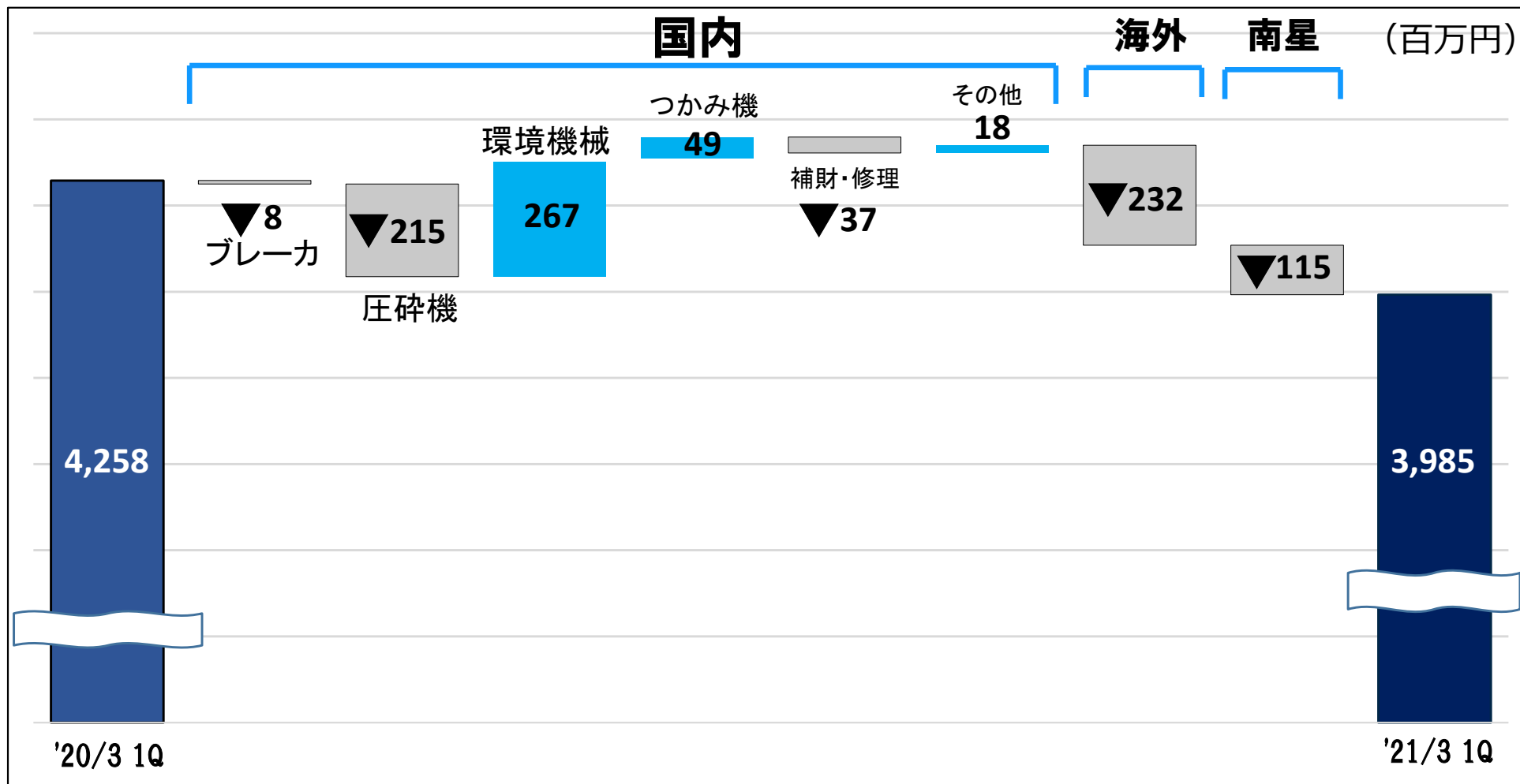


(百万円)	20/3期 1Q実績	21/3期 1Q実績	前年 同期比 増減		21/3期 見通し (2020/8/7公表)	進捗率 (%)
			(額)	(%)		
売上高	4,258	3,985	▼273	▼6.4	16,000	24.9
売上総利益	1,296	1,219	▼77	▼5.9	—	—
販売費及び 一般管理費	943	851	△92	△9.7	—	—
営業利益	353	368	14	4.2	1,000	36.8
経常利益	363	369	5	1.6	1,000	36.9
当期純利益 (当社株主帰属)	237	244	7	3.1	650	37.5

# 売上高増減要因

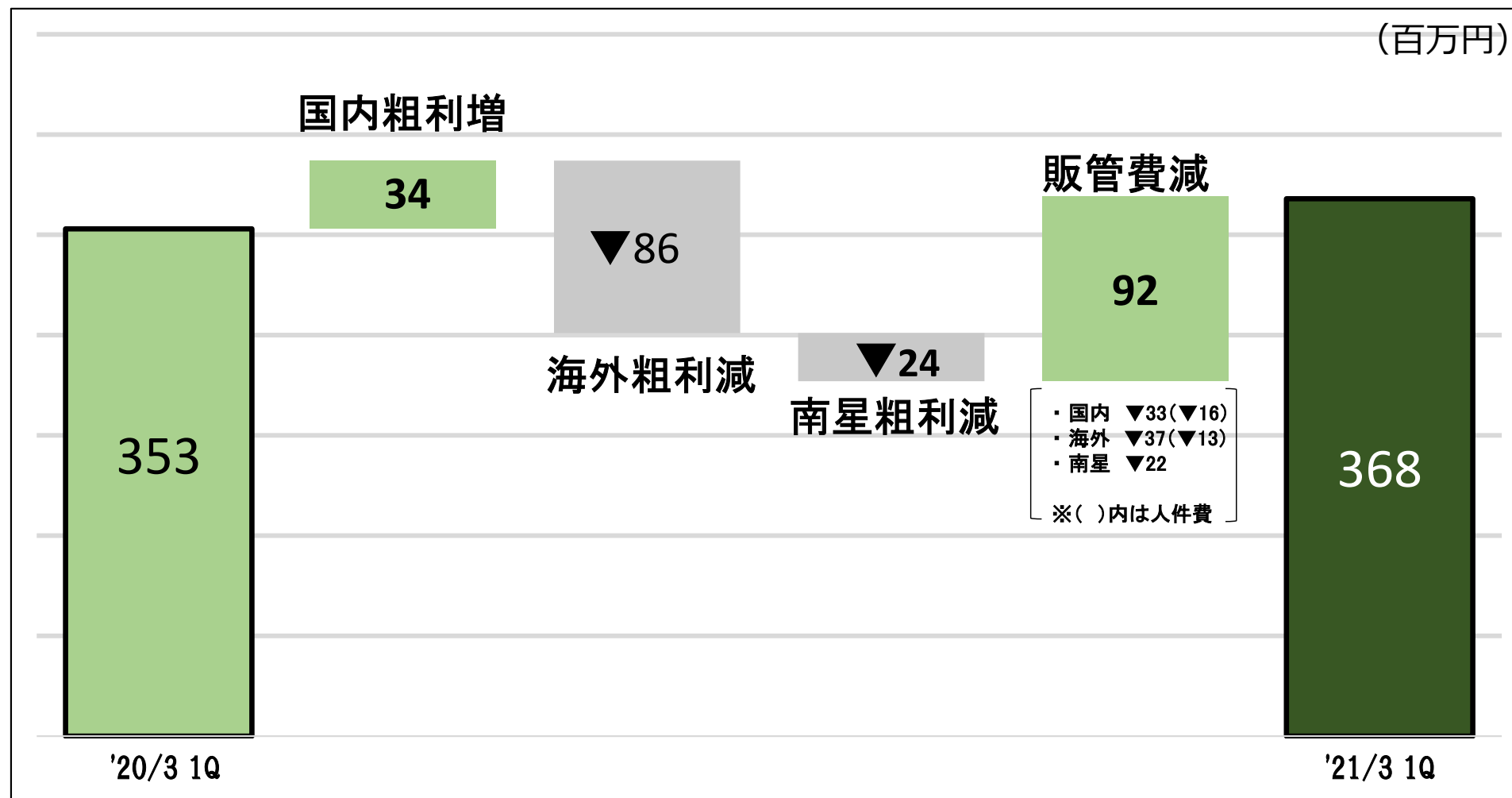


- 国内は、主力圧砕機売上減だが、環境機械が順調で増収確保
- 海外は、主力の北米でコロナ感染拡大が影響するも、アジアは新商材投入で微増
- 南星は、コロナ影響による買い控え及び工事部門の完工時期ズレで減収



# 営業利益増減要因

- 国内売上増による粗利増、海外・南星売上減による粗利減
- 販管費の削減により増益確保



# 機種別売上（1Q推移）



(百万円)

		'19/3期 1Q	'20/3期 1Q	'21/3期 1Q	前期比		前々期比
					金額	増減(%)	増減(%)
	ブレーカ	176	181	173	▼8	▼4.5	▼1.7
	圧碎機	1,491	1,248	1,032	▼215	▼17.3	▼30.8
	環境機械	383	252	520	267	106.1	35.8
	つかみ機	124	164	214	49	29.9	72.6
	補材・修理	450	526	488	▼37	▼7.2	8.4
	その他	124	187	206	19	10.1	66.1
	国内計	2,748	2,558	2,633	74	2.9	▼4.2
	海外計	824	1,025	793	▼232	▼22.6	▼3.8
	南星計	650	673	558	▼115	▼17.2	▼14.2
	連結計	4,222	4,258	3,985	▼273	▼6.4	▼5.6

# 地域別売上（国内1Q推移）



(百万円)

	'19/3期 1 Q	'20/3期 1 Q	'21/3期 1 Q	前期比		前々期比 (%)
				金額	増減 (%)	
北海道	209	79	192	113	143.0	▼8.1
東北	304	269	281	12	4.5	▼7.6
関東	832	796	543	▼253	▼31.8	▼34.7
中部・北陸	344	403	403	0	0	17.2
関西	258	272	361	89	32.7	39.9
中国・四国	304	337	270	▼67	▼19.9	▼11.2
九州	395	329	537	208	63.2	35.9
その他（本社扱）	102	68	41	▼27	▼39.7	▼59.8
国内計	2,748	2,558	2,633	74	2.9	▼4.2
海外計	824	1,025	793	▼232	▼22.6	▼3.8
南星計	650	673	558	▼115	▼17.2	▼14.2
連結計	4,222	4,258	3,985	▼273	▼6.4	▼5.6



# 地域別売上（海外1Q推移）



(百万円)

		'19/3期 1 Q	'20/3期 1 Q	'21/3期 1 Q	前期比		前々期比 (%)
					金額	増減 (%)	
海外 19.9%	北米	575	772	570	▼202	▼26.1	▼0.8
	アジア	182	107	109	2	2.0	▼40.1
	ヨーロッパ	52	125	100	▼25	▼20.0	92.3
	その他	15	21	12	▼9	▼42.9	▼20.0
	海外売上計	824	1,025	793	▼232	▼22.6	▼3.7
国内 66.1%	海外比率 (%)	19.5	24.1	19.9	▼7.5	—	—
南星 14.0%	内、当社内 北米シェア (%)	69.8	75.3	71.9	▼3.4	—	—

# 今期計画と中長期経営計画 進捗状況



## ◆中期経営計画にはコロナ収束後改めてチャレンジ

(百万円)	1 <sup>st</sup> ステージ			2 <sup>st</sup> ステージ			当初計画
	実績			実績		計画	
	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	
売上高	12,043	13,113	15,399	17,866	17,957	<b>16,000</b>	21/3期 20,000
営業利益	760	1,106	1,195	1,524	1,368	<b>1,000</b>	2,000
経常利益	721	1,092	1,270	1,560	1,347	<b>1,000</b>	2,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	438	696	666	1,000	884	<b>650</b>	1,250
海外売上高	2,313	2,095	2,752	3,061	2,985	<b>2,180</b>	4,000
海外売上比率	19.2%	16.0%	17.9%	17.1%	16.6%	<b>13.6%</b>	20.0%

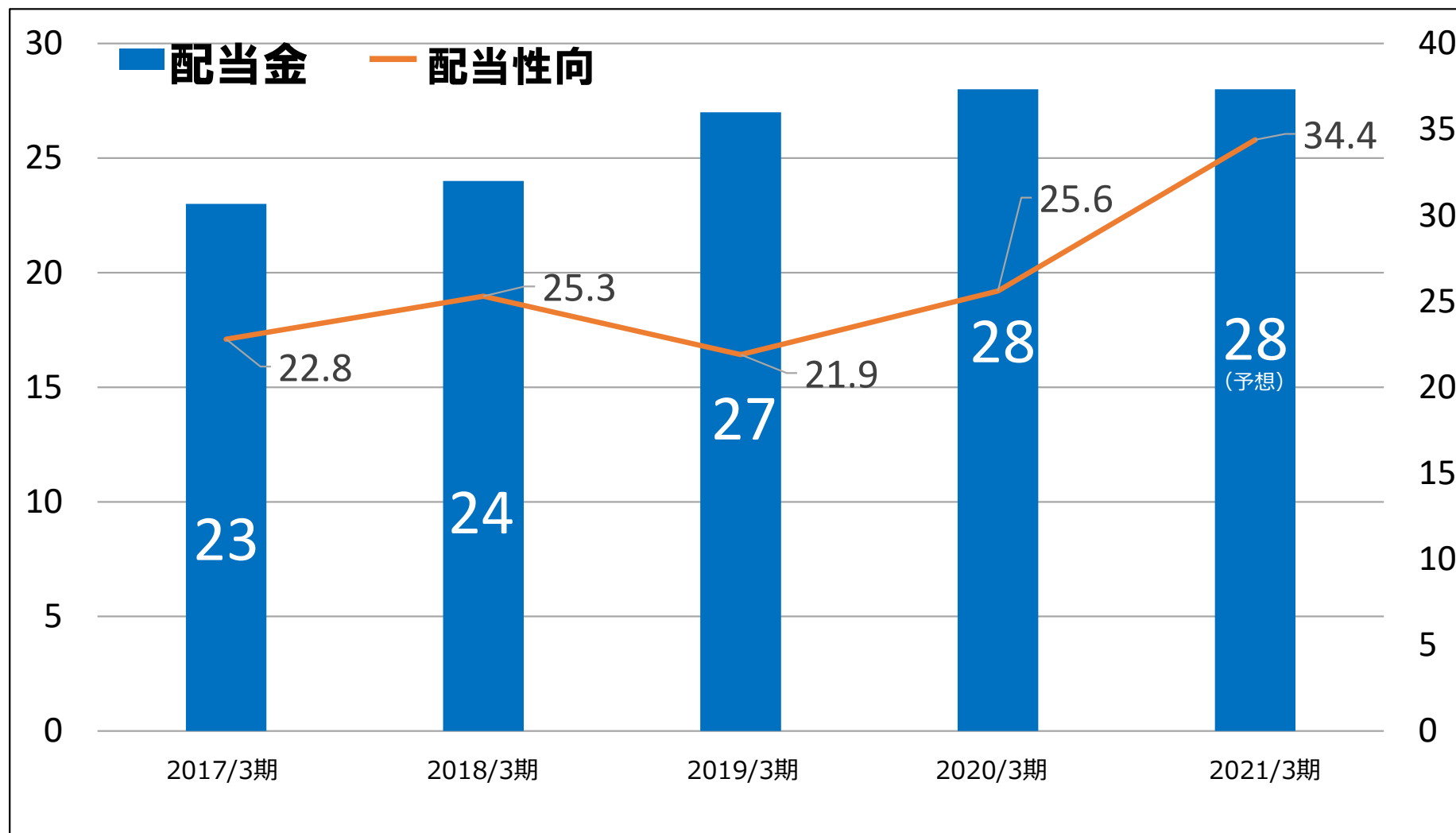
# 配当金推移



コロナ影響下においても配当額を維持する予定

(円)

(%)



【参考】

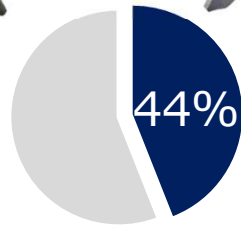
# 主力商品シェア（20/3期）



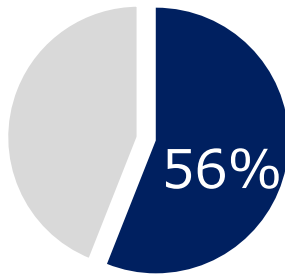
## 大割機



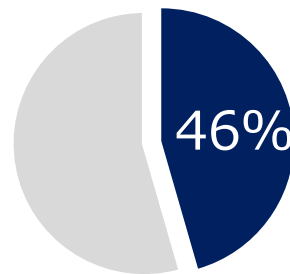
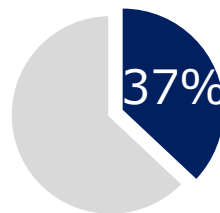
全国平均



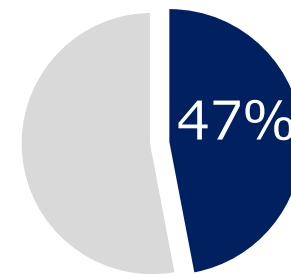
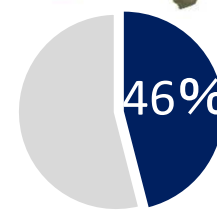
首都圏



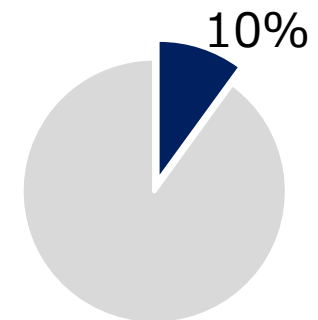
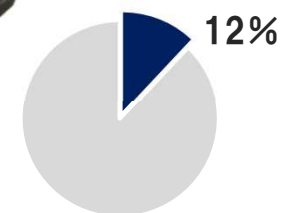
## 小割機



## 鉄骨カッター



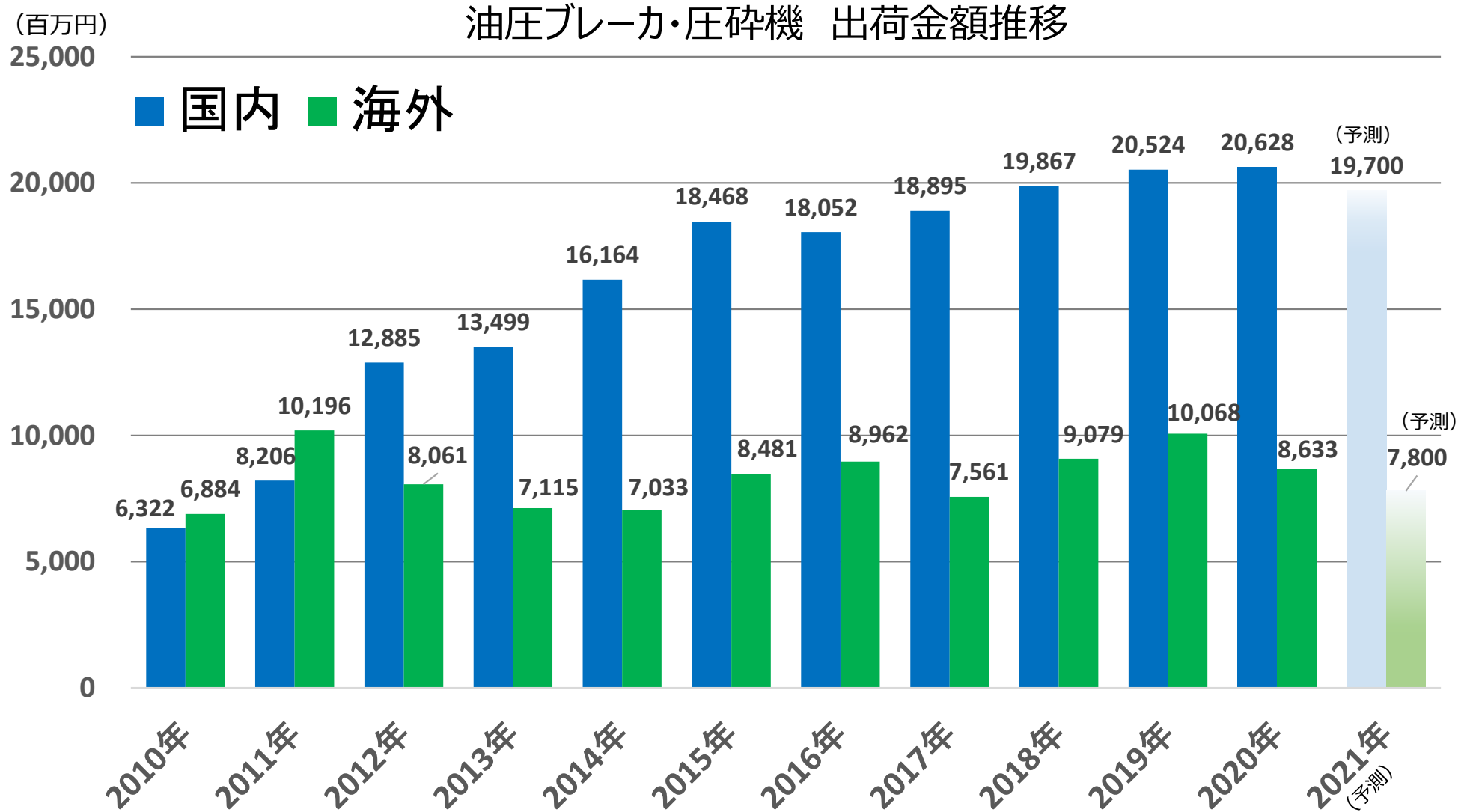
## ブレーカ



首都圏：東京・埼玉・千葉・神奈川

（日本建設機械工業会（CEMA）発表資料を基に当社作成） 2019/4～2020/3

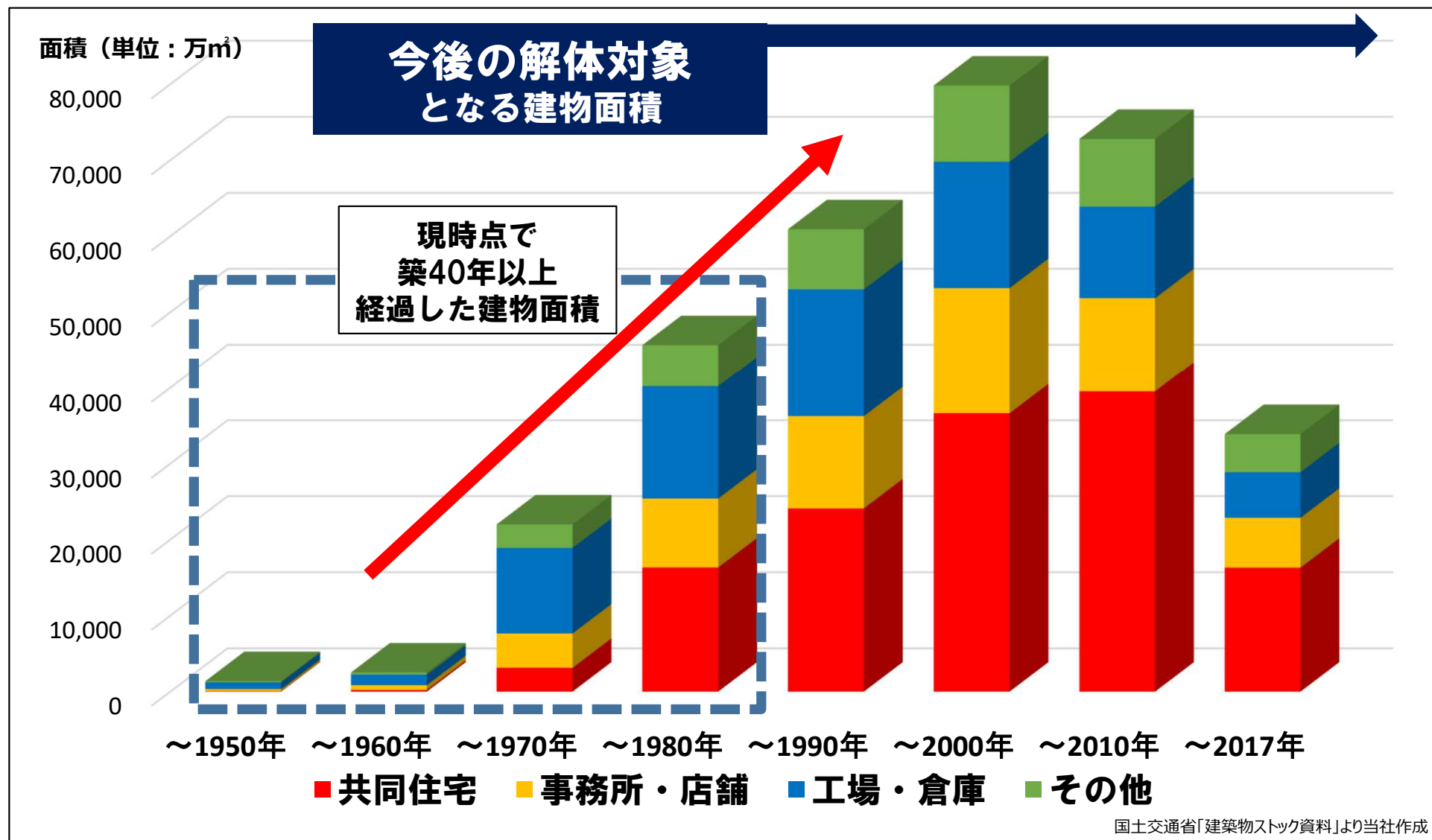
# 【参考】解体アタッチメントのマーケットサイズ



(日本建設機械工業会 (CEMA)4/30時点までの発表資料を基に当社作成) ※コロナ考慮せず

## 非木造建物（コンクリート建物）の建築年代と建築面積

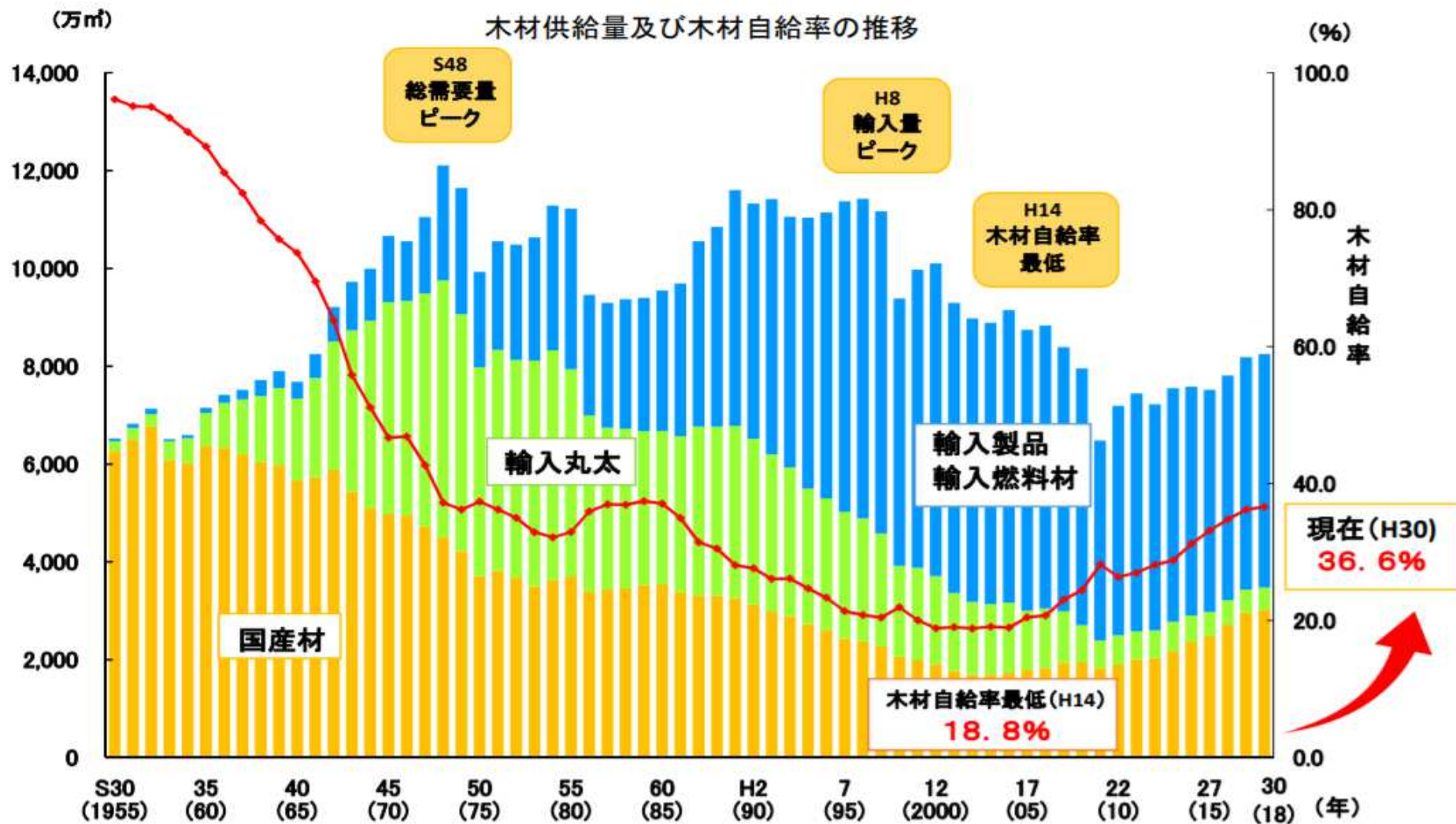
◆ 築40年以上の解体対象を見ると、解体需要はこれからが本格化



# 【参考】 林業マーケット需要

■ 木材自給率は8年連続上 (36.6%)

■ 燃料材の総需要量は対前年15.6%



林野庁「『平成30年木材需給表』の公表について」(2019年9月27日発表)

## <注意事項>

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。